

資源評価調査

守岡佐保・池脇義弘・天真正勝・石田鉄兵・増田 滋・
木下雅雄・四宮昭彦・悦田 明・藤岡保史・渋江 文

本調査の目的は、国連海洋法条約の発効に伴い我が国水域内の水産資源の漁獲可能量(TAC)を決定して水産資源の有効利用及び管理を行うために必要な基礎資料を整備することである。独立行政法人水産総合研究センターからの委託により、業務を実施した。以下に、平成16年度調査の内容と実施状況の概要を記す。

1 漁獲成績報告書の収集

中型まき網1統について漁獲成績報告書を整理した。

2 漁法別漁獲状況

次について漁法別漁獲量を集計した。

(1) 内海

北灘漁協：まき網のマイワシ・カタクチイワシ・ウルメイワシ・マアジ・サバ類、定置網・小型底びき網のマダイ

鳴門町漁協：一本釣のマダイ

徳島市漁協：小型底びき網のマダイ・ヒラメ

椿泊漁協：定置網・小型底びき網のマダイ、定置網・小型底びき網・刺網のヒラメ、延縄のトラフグ・サワラ

橘町漁協：釣・延縄のトラフグ・タチウオ・サワラ

(2) 外海

椿泊漁協：定置網のマアジ・サバ類・ブリ・マダイ、釣のマダイ

東由岐漁協：定置網のマイワシ・カタクチイワシ・ウルメイワシ・マアジ・サバ類・ブリ・マダイ

牟岐東漁協：釣のマダイ・マアジ・サバ類・ブリ

牟岐町漁協：定置網のマイワシ・カタクチイワシ・ウルメイワシ・マアジ・サバ類・ブリ・マダイ

鞆浦漁協：大型定置網のマイワシ・カタクチイワシ・ウルメイワシ・マアジ・サバ類・ブリ・マダイ

宍喰漁協：定置網のマイワシ・カタクチイワシ・ウルメイワシ・マアジ・サバ類・ブリ・マダイ

3 標本船調査

次の標本船日誌調査を実施した。

船びき網（和田島漁協7統、橘町漁協1統、阿南漁協4統）のシラスの漁獲量、操業場所等の操業日誌（周年）

4 生物測定調査

(1) 体長測定調査

次の体長測定を実施した。

和田島：カタクチシラス

椿泊・宍喰：マイワシ・カタクチイワシ・ウルメイワシ・マアジ・サバ類

(2) 魚体精密測定調査

体長測定と同一の調査地、魚種について、月1-2回の精密測定（体長、体重、性及び生殖腺重量）を実施した。

5 魚卵稚仔量調査

イワシ類・アジ・サバ等の魚卵稚仔量を把握するための調査を実施した。

(1) 調査海区：播磨灘海区、紀伊水道海区、海部沿岸、海部沖合

(2) 調査項目：卵稚仔

(3) 調査方法：改良型ノルパックネット(口径45*高さ180cm、オープニング0.335mm)の垂直びき

(4) 調査点数

改良型ノルパックネット：播磨灘2点/月、紀伊水道12点/月、海部沿岸12点/月、海部沖合3点/3月(海部沖合は5、8、11、2月に実施)

6 調査結果の報告

得られたデータについては、電子情報に変換した後我が国周辺漁業資源調査情報システム(FRESCO)により関係先へ電送・報告した。